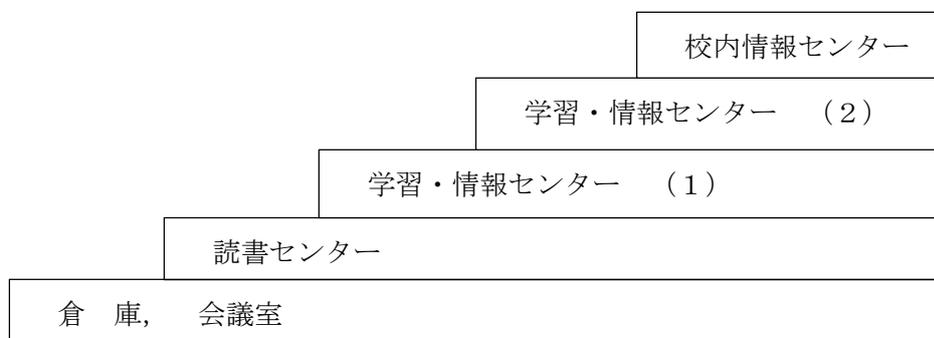


「読書センター」と「学習・情報センター」機能



利用指導から情報リテラシーの教育へ

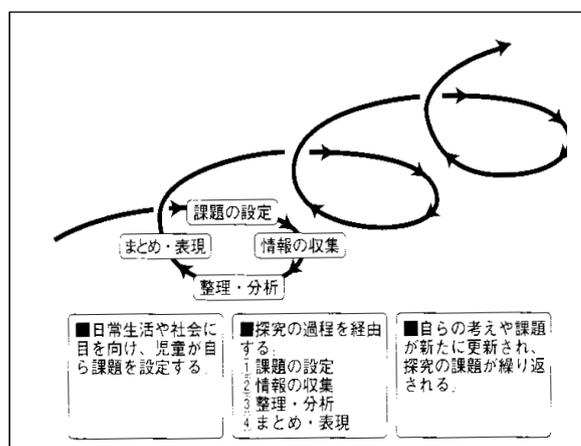
- 1960～70年代 ソース・アプローチ
- 1980年代～ パスファインダー・アプローチ
- 1990年代～ プロセス・アプローチ

1974 ツルコウスキーが初めてインフォメーション・リテラシーの概念

1989 アメリカ図書館協会

「情報リテラシーのある人とは、情報が必要であるときを認識でき、必要な情報の所在を知る能力をもち、必要とした情報を理解し、効果的に利用できる能力をもった人である。……つまり、情報リテラシーのある人とは、学び方を知っている人である。学び方を知っているとはいうのは、知識を通して学習することができるように、知識がどのように整理されていて、どのように見つけだせばよいか、どのように情報を利用したらよいかを知っていることである。」

学習指導要領解説 総合的な学習の時間



総合的な学習の時間の目標

- (1) 横断的・総合的な学習や探究的な学習を通すこと
- (2) 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成すること
- (3) 学び方やものの考え方を身に付けること
- (4) 問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てること
- (5) 自己の在り方生き方を考えることができるようにすること